

## 情報を見極める力を磨くための方法論

# 自分にとって信頼できる情報発信者や情報源を見つける



### Ⅰ情報を見極める力とブランディングの関連性

こんにちは、クエストリーの櫻田弘文です。今月のレポートのテーマは「情報を見極める力」です。「自分にとって本当に信頼できて価値ある情報を選び取るにはどうしたら良いのか？」という問いに対する答えを考えます。

「情報を見極める力とブランディングがどう関係しているのか？」と思う方もいるかもしれません。しかし、この力はブランディングで重要な意味を持っています。なぜなら、正確な情報を基にした意思決定が欠かせないからです。

中小企業はヒト・モノ・カネなどのリソースが限られています。情報を正確に見極める力があれば、限られた資源を最適に活用し、投資対効果を最大化できます。一方、情報を見誤ると大きな痛手や損失を被る可能性があります。

### Ⅱ誤情報や偏った情報に惑わされるリスクを軽減

前回は、情報を見極める方法として、「客観的な事実と主観的な意見を整理し、自分の立場を明確にする」ことの重要性について述べました。今回は、「信頼できる情報発信者や情報源を見つける方法」について、解説していきます。

現代は誰もが情報を発信できる時代です。良いことではあるのですが、正確性や信頼性が保証されていない情報が多いのも事実です。誤情報や偏った情報に惑わされるリスクを減らすには、信頼できる情報の発信者を見つけることです。

見つけるポイントの一つは、発信者がその分野での専門知識や経験を持っていることです。例えば、医療情報であれば医師や研究者、経済情報であれば専門家や公的機関の発信が信頼性の高い情報源となります。

### Ⅲ気づきを与えてくれる佐々木俊尚さんと内田樹さん

また、SNS やブログで信頼性の高い発信者をフォローし、定期的に情報をチェックすることも重要です。もちろん、鵜呑みにせずに「この情報は正確か?」「発信者の意図は何か?」といった視点で情報を検証する必要があります。

個人的に「この方の情報は信頼できる」と思っている二人を紹介します。一人は、作家・ジャーナリストの佐々木俊尚さんです。著書を読み、フォローしました。IT、メディア、社会、ライフスタイルに関する鋭い分析が参考になります。

もう一人は内田樹(たつる)さんです。佐々木さんと同様に、著書を読み、フォローしました。思想家、哲学者、仏文学者、そして武道家として幅広い分野で活躍している方です。幅広い知識と独自の視点から新たな気づきを与えてくれます。

### Ⅳ常に批判的思考を持ちながら情報と向き合う

とはいえ、「なんちゃって専門家」や「話題に乗っただけの発信者」も数多くいます。それを見抜くには、主張に対しての具体的なデータや出典の有無を確認することです。根拠が曖昧な情報は信頼性が低い可能性があります。

また、発信者や運営元が明確であることも重要です。商業的な意図や収益構造が公開されているかをチェックします。例えば、「この記事は広告を含みます」といった表示がある場合、情報の偏りを考慮する必要があります。

いずれにせよ、特約の発信者や情報源だけに依存するのではなく、複数の情報をチェックし比較することで、信頼できる情報が手に入ります。手間を惜しまず、常に批判的思考を持って情報と向き合う姿勢が求められています。(櫻田弘文)



作家・ジャーナリスト  
佐々木俊尚さん



思想家、哲学者、仏文学者、武道家  
内田 樹さん

### 今週のアクション

## 自分にとって信頼できる 情報発信者や発信源を見つけよう

日々押し寄せてくる膨大な情報の中から、あなたは何を基準にして情報を選択していますか。基準の一つが情報発信者や発信源です。漫然と情報を受け取っているのではなく、自分にとって信頼できる相手かどうか確認してみてください。